

一般財団法人 大阪府建築士事務所協会主催  
平成27年度 第2回「茨木市分譲マンションセミナー」



とき：平成27年11月22日（日曜日）11：00～12：30

ところ：イオンモール茨木 1階中央吹き抜けジョイプラザ

テーマ：『安全・安心な住まい～貴方と家族を守る、犯罪者目線からの防犯思考～』

講師：(一社)全国防犯啓蒙推進機構  
理事長 折元 洋巳 氏

一般社団法人大阪府建築士事務所協会理事の山下理事の講師プロフィール紹介のあと、(一社)全国防犯啓蒙推進機構理事長折元洋巳氏にご講演いただきました。

折元氏は昭和 61 年大阪府巡査を任せられ約 20 年間大阪府警察に勤務されました。その間、機動隊・けん銃特別訓練生などを経験し、私服警察官として 10 年。留置場の看守として 2 署 4 年を経験。特に看守時代の経験から、犯罪者の心理や手口などを熟知する数少ない専門家です。一般社団法人全国防犯啓蒙推進機構を設立し、「犯罪者の目線から語る防犯対策」をテーマに各種メディアへも出演、精力的に防犯啓蒙活動をされております。今回は犯罪者対策について実践的なお話をさせていただきました。

### 【講演概要】

#### はじめに

警察官は、逮捕・取り調べを行うため、犯罪者とは基本的に敵対していますが、留置所の看守は監視と食事・洗濯・入浴などの日常生活の世話を主な役割としていたことから、檻の中から話しかけられることも多く、勤務中に犯罪者から様々な話を聞きました。

犯罪に遭わないように、安全に暮らせるように、皆さんがとるべき方法は簡単です。犯罪者の目線で考え、対策することで、皆さんが安心・安全に暮らせるまちづくりができます。

#### これで大丈夫。防犯対策はバッチリ！（世間の声）

防犯とは犯罪を予防すると書きますが、例えば泥棒はマンションの『防犯カメラ』を気にしません。なぜなら平成 26 年度の統計で泥棒の被害は大阪だけで 1 日 19.57 件も発生しているので、殺人・強盗などの凶悪事件以外は多すぎてニュース番組等で一般公開されることがないことを知っているからです。

泥棒は侵入から逃走まで 5～10 分で行い、思考は一般人に近いです。お金に困って他人の家に入ろうとする人の気持ちを想像してください。ドキドキしながら侵入する時間はとても長く、だれかに見られていすで通報されているのではないかと考えると長居はできません。さらに入った家の何処に金品があるかなんてわかりません。実は泥棒は空振りが多く、ローリターンです。

泥棒の被害に遭っても何も盗まれないことの方が多いのですが、何も盗まれずにすんでよかったと荒らされた家で、安眠できる人は少ないです。泥棒の怖さは家の中に第三者が侵入したということです。

#### これで大丈夫。防犯対策はバッチリ！（世間の声）

- 防犯カメラがあるから安心
- オートロックだから大丈夫
- 明るい所が安全
- 防犯にはお金がかかるし・・・
- 警備会社と契約しているから安心
- うちは10階だから安心
- 高い塀が安心
- 不審者に気をつけよう！
- 知らない人について行ってはダメよ！
- うちの子には防犯ブザーをもたせているから安心

### 防犯カメラがないと無理？

エレベータ内の映像をエントランスに流すとエレベータ内の事件は減少しますし、ゴミ置き場に設置すると不法投棄が減ります。目の代わりとして駐車場や駐輪場につけるのも効果的で、なにか事件があった時に映像を警察に提出して被害者を安心させる効果もあります。ただし、泥棒のように防犯カメラに対してなんとも思っていない犯罪者もいますので、つけたからといって安心はできません。機械を過信せずに正しい防犯知識を持つことが大事です。

### 「防犯三種の神器」のウソ！

よくマンションの広告には防犯対策としてオートロック、防犯カメラ、高性能の鍵前が掲載されて安全をうたっています。防犯カメラについては先にお伝えしましたとおりです。

オートロックは簡単に外から開けることができます。外国人窃盗団が狙うマンションの9割はオートロックです。オートロックは善意の第三者しか防げません。泥棒にとって一度敷地内に入ってしまうとこの住民以外の目につきにくいオートロックのマンションは安心なのです。

日本の錠前は高性能です。ピッキングが流行すると日本の鍵メーカーは対策をしました。簡単な自作工具があれば1本の鍵で同じマンションの全ての扉を2～3秒でキズもつけずに開けてしまうバンピングについても対策しました。しかし高層住宅は別として侵入口として一番多いのは窓ガラスですし、錠前が高性能なら泥棒は扉を狙います。

### 実施の被害現場画像

玄関扉のバール破壊手口について。玄関扉を輪切りにすると1mm程度の鉄にまかれた発泡スチロールのような防音、断熱材でできており、簡単に変形しますし穴も開きます。鍵部分の引っかかりにバールを差し込んでこじると扉が変形して開きます。これをされると扉の交換だけで何十万もします。マンションの扉は既製品ではないので製作に時間もお金もかかります。しかも交換までの期間は壊れた扉のまま生活することになります。

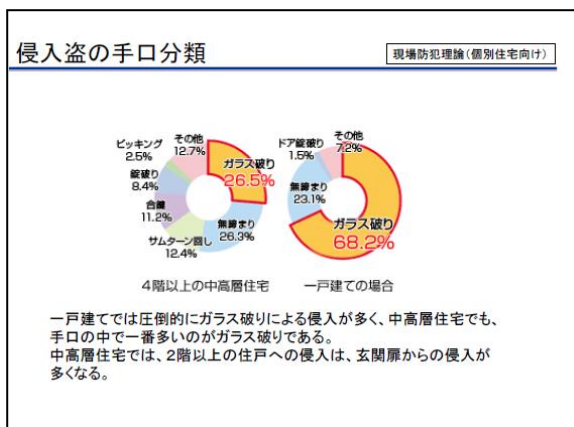


サムターン回しについて。サムターン回しとは手口の総称です。穴あけによるサムターン回しは手動ドリルで鍵穴近くに穴を開けるかドアスコープを取り外すかして、先端の曲

がる自作の特殊な棒を差し込み、サムターンを回します。もう一つはポスト破壊。これは扉についての郵便受けを取り外して腕を入れて直接サムターンを回します。この手口にはサムターンカバーなどは役にたちません。

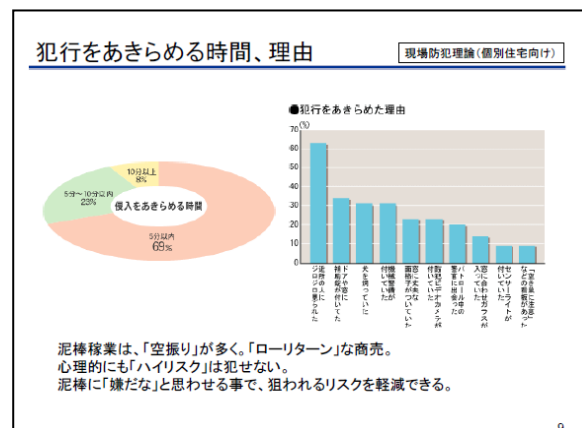
### 侵入盗の手口分類

警察が泥棒（侵入盗）の侵入手口を分析した結果、戸建てや4階以上の集合住宅でも2～3割は無締まり（無施錠）であったことがわかりました。しかし、いかがでしょう、皆さんが外出したときに、鍵を閉め忘れたかもしれないと確認にもどれば、鍵はかかっているはずで。人間は無意識にもいつもどおりに行動します。いつもかける鍵は無意識でもかけるものです。ドアスコープのサムターン回しとバンピングなどの手口ではドアや鍵穴にキズがつかないので警察の事情聴取時に、鍵はかけていましたかと改めて聞かれるとかけていなかったかもと答える被害者もいます。先ほどの1日 19.57 件も侵入盗として警察が把握している数です。別にカウントされる住居侵入や侵入強盗などもありますし、被害届が出ていないために警察が把握していない数もかなりあることを知ってください。



### 犯行をあきらめる時間、理由

侵入に5分以上かかると7割はあきらめるという統計があります。侵入口である玄関と窓に防犯対策をとり、それをアピールするだけで大部分の泥棒はあきらめます。日本の建物のおそらく9割は対策をとっていないので泥棒は別の家を狙います。



### 具体的対策

玄関対策、窓対策、死角対策（環境）、集合住宅の場合は住民が出入りする共有部分から部外者を閉め出すことは不可能です。防犯費用も跳ね上がります。共有部ではなく、各戸を守るようにしましょう。泥棒はローリターンですのでハイリスクは背負わず、簡単に入れるところ、集合住宅で言えば玄関と窓を狙います。この2箇所に対策をすればかなり安全な家になりますが、玄関ドアによい鍵をつけても泥棒はそこを狙わないので安心ではありません。ではどうすればよいか、1ドア2ロックです。これにはそんなにお金はかかりません。そんなによい鍵をつけなくても2個つけることに効果があります。防犯は周り

の比較競争です。ここは周りと比べて入りにくそうだなと思わせるだけでいいのです。

### 無料でできる対策がある

カメラ付きインターホンは泥棒対策ではなく強盗対策には効果があります。来客を確認せずに扉を開けてはいけないということです。この知識があると機器が生きてきます。

ゴミ出しひとつでも泥棒が寄ってきます。泥棒がマンションの下見を行う際にはゴミ捨て場と駐輪場を見ます。ゴミの日ではないのにゴミがある。ゴミ収集のあとに飛び散ったゴミが散乱している。駐輪場の自転車のカゴに空き缶がある、それに埃がかぶっていて長期間そのままである。この建物はそんなことがまかりとおるほど住民が住宅環境に興味がなく、関係が希薄であるということで、泥棒が好む環境です。

住民間の仲がよければゴミは指定の日以外に出せません。カゴにゴミがあれば持ち主に注意したり捨ててあげたりすることがで、防犯に強いまちは井戸端会議が多いく、住民のコミュニケーションが密にとれていることです。住民が顔見知りで関係者以外の第三者を不審者として対応できれば、泥棒にとってはローリターンなのでローリスクしか背負いません。そのまちで仕事をする理由はないので、他に行きます。

花壇も防犯対策になります。通行人の目が集まるということは、泥棒も人間ですので、後ろめたさがあります。人目につく綺麗なまちでは仕事がやりづらいのです。かつてニューヨークでは落書きを消し、ゴミを捨て、街を綺麗にすることで犯罪率が激減しました。

最低限の防犯対策（扉・窓）とまちのコミュニケーションで犯罪は激減します。

### 犯罪の起こる場所の共通点

犯罪は場所と密接な関係があります。犯罪者がターゲットを見つけても舞台の上で犯行に及ぶようなことはありません。公衆トイレなどの入りやすく見えにくい場所と不特定多数の人が集まっていて周りの目が分散される場所は危険です。特に親子でできる有効な防犯対策として自分の子どもが家から学校、塾へと通う道を昼と夜に親子で一緒に歩いて何処が危ないか考えてみることをおすすめします。この時に危ない理由を全部説明してはいけません、一緒に考えるようにしてください。

犯罪の起こる場所の共通点		犯罪機会論(地域全体)
(誰もが)(犯人が)	「入りやすい」(領域性が低い)	
(誰からも)(犯行が)	「見えにくい」(監視性が低い)	
<b>(物理的に)入りやすく見えにくい場所</b>		<b>(心理的に)入りやすく見えにくい場所</b>
○基本構造=トンネル構造		○無関心な場所(秩序感が薄い)
○「見えにくい」の2類型		落書き、ゴミの散乱、放置自転車、伸び放題の雑草、切れた街灯など
・死角がある。		○不特定多数の人が集まる場所
・死角はないが、視線がない。		駅前広場、量販店、ショッピングモール、娯楽施設など、 …大勢の人がいて安全そうだが、 …過剰的注意(異常事態に気づけにくい) …傍観者効果(人数の分だけ責任感が薄くなる) により、結局誰も何もしない、覚えていないという事態が多い。

### 終わりに

残念ながら今の日本では被害者よりも被疑者が大事にされています。留置所では1日3本のタバコが吸え、日に3回の食事、差し入れや、警察署の食堂から出前も取れ、手紙も

書けます。拘置所ではおやつも食べられます。自由に外出はできませんが、それは犯罪者が自分の意思で犯行におよんだ結果です。他人の人権を無視して自分の欲を満たした結果です。被害者はどうでしょうか。殺人事件の遺族には多少の手助けがありますが泥棒や性犯罪の被害者にはなにもありません。単に泥棒と考えて欲しくはありません。あるおばあちゃんは20代の頃に泥棒と鉢合わせした体験からいまだに一人が怖いそうです。精神的な被害は簡単に癒やされるものではありません。被害者こそ大事にされるよう、本来は政治家が動くべきですが彼らは有権者の関心が被害者救済に向かないと動きません。ストーカー対策にしても厳しくするべきとは思っていても法律が変わらないことには警察や裁判所は動けないのです。まずは皆さんが考えて関心をもつことが大事です。

被害者支援を行っているボランティア団体があります。怖くて一人で裁判に行けない人がいればスタッフがついていきます。しかし交通費は1000円しか出ず、残りは職員の自費です。月の給料は7~8万円です。コンビニのアルバイトよりも安いです。最初はなんとかかしてあげたいと気持ちで頑張りますが5年10年たつと生活ができなくなります。防犯の団体は犯罪を減らすことであり、被害者の支援まではできません。これらの支援団体に対して少しでも援助をお願いします。

犯罪者にも人権はあり、公正の機会を与えることは大切ですが、一方で被害者の人権がないがしろにされていることに目を向けてください。

まとめとして、犯罪は最低限の防犯対策とまちのコミュニケーションで激減します。安心・安全な住まいのためにもこれらのことを皆さんの周りの方々にも広めて欲しいです。



#### 【質疑応答】

##### 質問

警備会社は抑止力になりますか？

##### 答

警察は事後に捜査を行います。防犯は事前に実施します。警備会社の場合は事後です。警報をわざと鳴らして警備員が駆けつけるまでの時間を調べ、時間内に犯行に及ぶ未成年窃盗団も実在しました。特に一般個人の住居で警備会社と契約しているから大丈夫と、それだけで安心はしないでください。